

3 子ども部会

(1) 平成28年度検討事項と結果

ア 検討事項

(ア) 困難事例における支援機関の連携体制の構築

(イ) 障害児を持つ親の支援のあり方と課題の把握

イ 検討結果

(ア) 複数の機関が支援している中で支援が困難な状態となった場合には、基幹相談支援センターが各支援機関と早い段階から情報連携しながら、刈谷市全体の調整機関として対応することで、連携体制の構築を図った。

(イ) a 各支援機関が作成する計画書を共有し、支援の共通ツールとして活用させる。

b わたし手帳を子どもの生活やサービス利用状況などを知ってもらうために、学校の面談や家庭訪問などの際に活用し、学校側に対しての説明補助や子どもに対する理解と親の意識向上に繋げていく。

c 学齢期になる子どもを持つ保護者に対して、支援方法など様々なアプローチを行う子育て発達支援セミナーを開催することを提案した。

(2) 平成29年度検討事項

保護者の支援体制にむけた検討

ア 子育て発達支援セミナーの開催

保護者からの適切な支援ができるよう、先輩保護者や支援機関からのアドバイス、各事業所を知ってもらうための事業所紹介など、セミナーをきっかけとした保護者への支援方法等を検討する。

イ 福祉と教育の連携体制の検討

福祉と教育を連携させるため、各支援機関が作成する計画書を共有し、支援の共通ツールとして活用させていくため、知りたい情報や内容を基に、それらをどう共有させ、どう活かしていくのかなど各支援機関が共有しやすい方法や取組みを検討する。